**平成２５年度第６回宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会研究大会「第２次案内」**

１ 大会テーマ　「特別支援教育における専門的指導力の向上を目指して」

２ 目　的

○ 特別支援学校と特別支援学級を設置する小学校・中学校の実践や研究の成果を共有し、会員相互の資質向上を図る

とともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を図る。

○ 特別支援学校及び特別支援学級設置校との職員間の交流や情報の共有化を図る。

３ 共　催 宮崎県教育委員会

４ 後　援 宮崎県市町村教育委員会連合会

５ 日　時 平成２５年７月３０日（火）　　１０：００～１５：１０

６ 会　場 県立みやざき中央支援学校宮崎市大字島之内 2100番地

７ 日　程　　　９：３０　～　１０：００　　受付

　　１０：００　～　１０：０５　　開会行事

　　　　　　　　　　　　　　　　　・会長あいさつ

　　１０：０５　〜　１０：３５　　全体報告会

１０：４５　〜　１２：０５　　分科会（実践報告会）

１２：０５　～　１３：３５　　作品・教材紹介ひろば

１３：３５　～　１５：０５　　分科会（実践報告会）

　　　　　　　１５：０５　～　１５：１０　　諸連絡

８ 内　容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会 | テーマ | 報告者 |
| 全　体  報告会 | **「総合特別支援学校としての１年間の取組」**  「地域とともに子どもたちの自立する心と力を育み、可能性を高め、未来を拓く総合的な専門教育の実現を目指す」ことを設置理念に掲げ、平成２４年４月に開校した延岡しろやま支援学校は、今年度で開校２年目を迎える。  　本研究大会において、本校が取り組んできた1年間の内容を紹介したい。 | 延岡しろやま支援学校  教頭　川越 浩司 |
| 第　１  分科会 | **実践報告Ⅰ （１０：４５ ～ １１：２５）**  **『共に生きる力』を育む「授業づくり（支援のあり方の改善）」**  在籍児童生徒の障がいの重度化・多様化が本校の課題の１つである。そこで、３ヶ年計画で教育課程の見直しや授業の改善（寄宿舎にあっては支援の在り方の改善）に取り組んでいる。その途中経過について報告する。 | みやざき中央支援学校  教諭　秋吉 研吾  教諭　齋藤 志保  教諭　三浦 志保  教諭　諏訪田祐子 |
| **実践報告Ⅱ （１１：２５ ～ １２：０５）**  **「小学部の児童に必要な力の育成を目指して**  **～ICFの視点を活かした力の育成と支援の在り方～」**  　いろいろな感覚を統合して行動することが難しい児童の状態を知り、感覚機能の発達を促すために、教育活動のあらゆる場面で、感覚あそびを中心に「感覚統合の視点を生かした支援」ができないか個別に事例研究を行った。 | 日南くろしお支援学校  教諭　吉田　ゆかり |
| **実践報告Ⅲ（１３：３５　～ １４：１５）**  **「一人一人にあった自立活動のあり方について**  **～日々の記録から生徒の変容を把握し次の指導へ生かすための手立て～」**  　平成２３年度４名の入学と同時に開設された自閉症・情緒障がい特別支援学級での一年間をＡ子の自立活動に焦点を当てて、試行錯誤を繰り返しながら取り組んだ様子と成果・課題、その後を発表します。 | 高鍋町立高鍋東中学校  教諭　田邊 芳子 |
| **実践報告Ⅳ（１４：２５　～ １５：０５）**  **「関係機関との連携におけるコーディネーターの役割」**  **「特別支援学校のセンター的機能を活かしたまちづくり・ひとづくり**  **～宮崎県高鍋町への地域支援体制構築コンサルテーション」**  　特別支援学校のコ―ディネーターとして、地域の関係機関と連携し就学前から小学校まで繋がる支援体制構築のためのコンサルテーションを行った。高鍋町の支援体制構築を事例に挙げ、特別支援学校のセンター的機能を活かした地域支援のあり方を展望したい。 | 児湯るぴなす支援学校  教諭　重黒木 俊朗 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会 | テーマ | 報告者 |
|  | **実践報告Ⅰ（１０：４５ ～ １１：２５）**  **「児童生徒一人一人の自立と社会参加の実現を目指したキャリア教育の充実**  **～将来を見据えた小中高の支援を通して～**  **「主体的な行動を引き出す効果的な支援の考察」**  キャリア教育の充実を図るために、児童生徒の「主体的な行動を引き出す指導・支援」の在り方について、縦割り研究班での取組と各研究班での取組から報告します。  小学部下学年重複グループでは、自立と社会参加実現には“子どもが変わるのではなく、指導者の支援の在り方”を考える必要があるとのことから「自立に向けた支援の在り方」を作成しました。そこでは主体性を育てることに着目し着替え指導に取り組んだ研究を報告します。 | みなみのかぜ支援学校  教諭　白石　千絵  教諭 道本　ゆかり |
| 第　２  分科会 | **実践報告Ⅱ（１１：２５ ～ １２：０５）**  **「自立や社会参加を促す指導・支援の在り方」**  **小学部　～キャリア教育を踏まえた日常生活の指導（性に関する指導）の在り方～**  授業研究を中心とした日常生活の指導（性に関する指導）の研究に取り組む。キャリア教育と日生（性に関する指導）との関連を整理した上で、児童一人一人のキャリア発達に沿った指導目標・内容について研究する。  **中学部**  **～キャリア教育の視点を踏まえた生徒の実態把握と教育活動の見直しを通して～**  PATHのやり方・流し方の整理・PATHの手法を用いたグループワークについてと、それをもとに各生徒について作成を試みた「PATH図」「キャリア教育発達段階表」等について発表する。  **高等部　～キャリア教育の視点を踏まえた作業学習の内容・方法について～**  各作業班（コーヒー班、環境整備班、製作班（木工、紙工）において①計画的・発展的な作業学習②個に応じた現場実習の設定③適切な支援の研究、の目標が達成できるよう研究を進めてきた。 | 都城きりしま支援学校  小林校  教諭　山元　なぎさ  教諭 上園　安二  教諭 深野　慶一 |
|  | **実践報告Ⅲ（１３：３５ ～ １４：１５）**  **「社会貢献を意識した授業の在り方について**  **～学校の教育活動と連動し、興味と関心、実態から児童の“強み”を伸ばす**  **学習活動を通して～」**  まず、西臼杵地区特別支援教育研究会において、地域性を生かした合同学習会の様  子について紹介します。次に本校における読書活動に関連させ、社会貢献の場として位置付けて、自立に向けた基礎作りを目指した実践報告です。 | 日之影町立日之影小学校  教諭　橋本　憲二 |
|  | **実践報告Ⅳ（１４：２５ ～ １５：０５）**  「キャリア発達を促す教育課程の創造～小中高の一貫教育を目指して～」  平成２４年度より二カ年で上記の主題を基に教育課題研究を行っています。その概要についてお知らせするとともに、昨年度の取組や今後の課題について報告します。 | 都城きりしま支援学校  教諭　川畑　慎 |

分科会は２会場に分かれて行われます。受付時にお間違えないようご確認下さい。新食堂と旧食堂です。

９ 申し込み

○ 会場の関係から、研究大会への参加人数を制限させていただきます。申し込み人数が定員になりましたら、以後の申し込みをお断りする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

10 諸連絡

　○　水筒、スリッパを必ず各自でご持参下さい。車で来られる方は駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせ

でお越し下さい。

**○　大会当日駐車場が大変混雑しておりますので、大会終了までの車の移動はできません。そのため、お車を利用しての**

**食事や買い物はできませんので、ご了承ください。**

**○　台風等の影響で当日開催できない場合、研究大会は中止とします。大会の情報については、前日午前１１時に態度決定**

**を行います。知的部会ホームページ、合わせて知的部会特別支援学校６校（延岡しろやま、日南くろしお、児湯るぴなす、**

**みなみのかぜ、みやざき中央、都城きりしま）でもお知らせしますので、各自で確認をよろしくお願いします。**

11 知的部会に関する問い合わせ

○ 知的部会に関する問い合わせ

|  |
| --- |
| 県立みなみのかぜ支援学校 知的部会事務局長 　西山由起子（TEL 0985-85-7851 FAX 0985-85-7859） |

○ 研究大会に関する問い合わせ

|  |
| --- |
| 県立都城きりしま支援学校 知的部会研究大会実行委員長 領家信一郎 (TEL 0986-25-1878 FAX 0986-25-4745) |